

# 伊那谷森林計画区

## 第五次国有林野施業実施計画書

計画期間 自 平成30年 4月 1日  
至 平成35年 3月31日

林野庁 中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は平成30年4月1日から平成35年3月31日までの5年間である。

## 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	8
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	9
(1)	保護林の名称及び区域	9
(2)	緑の回廊の名称及び区域	13
6	レクリエーションの森の名称及び区域	14
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域等	22
8	その他必要な事項	23
(1)	施業指標林、試験地等	23
(2)	フィールドの提供	24
(3)	森林共同施業団地	25

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域  
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量  
並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢等 年)

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
単層型 (短期)	小面積分散伐区	1,043.31	育成単層林施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	スギ 65 ヒノキ 75 カラマツ 60 アカマツ 75
	長伐期	5,216.68	育成単層林施業	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	スギ 130 ヒノキ 150 カラマツ 100
複層型	人工林複層伐 (常時複層)	1,033.79	育成複層林施業	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成(階層構造)する森林。	スギ 130[65] 90[65] ヒノキ 150[75] 100[75] カラマツ100[60] 85[60]
	(一時単層)				スギ 85[65] ヒノキ 95[75] カラマツ 80[60]

(単位：面積 ha、伐期齢等 年)

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
漸伐 複層型	天然林 漸伐 複層型	970.20	育成複層 林施業	天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	N 200 L 180
択伐 複層型	人工林 択伐 複層型	708.23	育成複層 林施業	人工林又は天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（段階構造）する森林。	N95 (35)
	天然林 択伐 複層型	1,943.63	育成複層 林施業及 び天然生 林施業		N200 (35) L180 (25)
その他		27.81	遺伝子保存林、検定林、施業指標林、試験地、精英樹保護林等の目的による。		
合計		10,943.65			

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 ( ) は回帰年、[ ] は複層林の初回伐採の伐期齢である。

3 人工林複層伐の常時複層状態となるタイプの二段書きは、後伐の伐期齢を二通り設けたもの。

(3) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプの施業群別の上限伐採面積 (単位：面積 ha)

施業群	上限伐採面積
小面積分散伐区	69.55
長伐期	173.90
人工林複層伐	81.40
漸伐複層型	24.25
択伐複層型	378.85

(注) 1 上限伐採面積は、計画期間（5年）分の面積である。

2 契約に定める分収林が含まれる場合には上限伐採面積を超えて定めることができる。

## (4) 伐採総量

(単位：材積 m<sup>3</sup>、面積 ha)

区 分		林 地					林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計		
山 地 災 害 防 止 タ イ プ	土砂流出崩壊防備		(1,315.49) 136,159	136,159				
	気象害防備							
	計		(1,315.49) 136,159	136,159				
自然維持タイプ			(23.55) 2,210	2,210				
森林空間利用タイプ			(154.12) 14,353	14,353				
快適環境形成タイプ								
水 源 かん 涵 養 タ イ プ	小面積分散型	(84.56) 24,908	(164.03) 17,088	41,996				
	長 伐 期	(6.0) 1,435	(1,244.37) 121,608	123,043				
	人工林複層伐	(17.77) 2,720	(256.70) 27,282	30,002				
	人工林択伐複層型		(62.69) 6,527	6,527				
	そ の 他	(4.22) 649	(4.31) 496	1,145				
	計	(112.55) 29,712	(1,732.10) 173,001	(1,844.65) 202,713				
合 計		(112.55) 29,712	(3,225.26) 325,723	355,435	44,565	400,000	400,000	
年 平 均		(22.51) 5,942	(645.05) 65,145	71,087	8,913	80,000	80,000	

(注) ( ) 書きは伐採面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：材積 m<sup>3</sup>)

市町村名	林 地				林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量		
茅 野 市	2,029	24,620	26,649			
下 諏 訪 町	4,552	38,315	42,867			
富 士 見 町	7,549	45,897	53,446			
伊 那 市	13,209	56,269	69,478			
駒ヶ根市		872	872			
辰 野 町	2,373	27,463	29,836			
飯 島 町		3,118	3,118			
宮 田 村		8,816	8,816			
松 川 町			0			
飯 田 市		48,199	48,199			
阿 智 村		9,064	9,064			
下 條 村			0			
喬 木 村		2,040	2,040			
豊 丘 村		6,231	6,231			
大 鹿 村		42,140	42,140			
中 川 村		12,679	12,679			

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

## (5) 更新総量

(単位：面積 ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人 工 造 林	単層林造成					51.67	51.67
	複層林造成					6.31	6.31
	計					57.98	57.98
天 然 更 新	天然下種第1類	21.84	13.38			81.62	116.84
	天然下種第2類						
	計	21.84	13.38			81.62	116.84
合 計		21.84	13.38			139.60	174.82

## (6) 保育総量

(単位：面積 ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈					331.16	331.16
	つる切			37.20		8.74	45.94
	除 伐	47.49				24.06	71.55

## 3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路 線 名	林 班・箇 所	延 長	備 考	
基 幹	改 良	三峰川林道	12ほか 3箇所	60		
		三峰川併用林道	313 3箇所	90		
		三峰川支線林道	80ほか 1箇所	20		
		奥浦（西風巻）林道	37ほか 1箇所	20		
		奥浦併用林道	民地 1箇所	30		
		奥浦林道	121ほか 1箇所	30		
		黒河内併用林道	204ほか 2箇所	60		
		横川坊主林道	1048ほか 3箇所	60		
		黒川林道	2137ほか 3箇所	60		
		北御所林道	2113ほか 1箇所	30		
		青木林道	2053ほか 3箇所	90		
		大乘坊併用林道	3241ほか 2箇所	40		
		蛇洞沢併用林道	3168ほか 1箇所	20		
		遠山併用林道	民地 2箇所	80		
		遠山林道	3002ほか 4箇所	120		
		兎洞併用林道	民地 2箇所	40		
		兎洞林道	3074ほか 2箇所	50		
		易老池口林道	3076ほか 2箇所	40		
		計	37箇所	940		
その他	開 設	南沢林業専用道	224ほか 1箇所	1,900		
		コガヤ沢支線林道	301ほか 1箇所	320		
		星ヶ塔支線林業専用道	1114ほか 1箇所	1,500		
		観音沢林業専用道	1160ほか 1箇所	880		
		切掛沢林業専用道	1335ほか 1箇所	740		
		八ヶ岳支線林業専用道	1336ほか 1箇所	560		
		兀嶽林業専用道	3193ほか 1箇所	2,900		
			計	7箇所	8,800	
	改 良	西風巻林道	39ほか 1箇所	20		
		西谷林道	203ほか 1箇所	20		
		尾長沢林道	226ほか 1箇所	20		
		黒河内支線林道	230ほか 1箇所	20		
		東谷林道	236ほか 1箇所	20		
コガヤ沢林道		301ほか 1箇所	20			
沢山林道		308 1箇所	40			
沢山支線林道		304 1箇所	20			
大長谷林道		1001ほか 1箇所	20			
大長谷支線林道		1001ほか 1箇所	20			
大洞林道	1010ほか 1箇所	20				
大滝林道	1030 1箇所	30				

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路 線 名	林 班・箇 所	延 長	備 考
その他	改 良	岩尾沢林道	1057ほか 1箇所	20	
		岩尾沢支線林道	1058ほか 1箇所	20	
		瀬戸沢林道	1065ほか 1箇所	20	
		星ヶ塔林道	1109ほか 1箇所	30	
		大平林道	1121 1箇所	30	
		千枚岩林道	1304 1箇所	50	
		キツカケ沢林道	1311ほか 1箇所	800	
		富士見高原林道	1339ほか 1箇所	20	
		金沢併用林道	1403 1箇所	20	
		金沢支線林道	1411 1箇所	50	
		青木支線林道	2056ほか 3箇所	60	
		地獄谷林道	2065ほか 2箇所	50	
		陣ヶ沢林道	3205ほか 2箇所	40	
		風越林道	3217ほか 1箇所	20	
		芦部川併用林道	民地 1箇所	20	
		芦部川林道	3232ほか 1箇所	20	
		芦部川支線林道	3235ほか 1箇所	20	
		大乘坊支線林道	3250 1箇所	20	
		沢山林道	3282 1箇所	20	
		程野山林道	3176ほか 1箇所	20	
		計	36箇所	1,620	
合 計	開 設		7箇所	8,800	
	改 良		73箇所	2,560	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

## 4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計 画 量
<b>【南信署】</b> 東俣川、大河原川、渋川、唐沢（諏訪）、鳴岩沢、柳川、柳窪、金沢、大洞谷、岩尾沢、瀬戸沢、手良沢、小黒川、東谷、藪沢、歌宿沢、小瀬戸谷、東風巻谷、西風巻谷、船形沢、大黒沢、黒桧谷 <b>【伊那谷総合治山】</b> 塩川下流、青木川上流、中御所川下流、黒川中流、日向沢、岩本沢、兔洞、押出沢、上村、松川（阿智川）、汗馬沢、赤なぎ、本谷、園原、小嵐川	保全施設	溪間工	37 (南 信 署 22) (伊那谷総合治山 15)
<b>【南信署】</b> 東俣川、大河原川、渋川、唐沢（諏訪）、鳴岩沢、大洞谷、岩尾沢、手良沢、小黒川、東谷、藪沢、小瀬戸谷、東風巻谷、西風巻谷、船形沢、菰立沢、黒桧谷 <b>【伊那谷総合治山】</b> 塩川下流、青木川下流、青木川中流、青木川上流、中御所川下流、黒川中流、松川（与田切川）、日向沢、与田切川下流、オンボロ沢、尾高沢、岩本沢、兔洞、押出沢、上村、松川（阿智川）、汗馬沢、赤なぎ、本谷、園原、小嵐川	保全施設	山腹工	38 (南 信 署 17) (伊那谷総合治山 21)
<b>【南信署】</b> 黒桧谷	保全施設	その他	1 (南 信 署 1)
伊那谷森林計画区管内の保安林区域内	保安林の整備	保安林改良	816.20
合 計	保全施設	溪間工	37 (南 信 署 22) (伊那谷総合治山 15)
		山腹工	38 (南 信 署 17) (伊那谷総合治山 21)
		その他	1 (南 信 署 1)
	保安林の整備	保安林改良	816.20

(注) 1 保全施設の計画量「箇所数」は「単位流域」数を表す。同名の単位流域には（支流域名）を付した。

2 位置は単位流域を表す。

3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

ア 森林生態系保護地域

名称	新設 既設別	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等	施業等
南アルプス南部光岳	既設	1,511.03	3117~3120 3128 3132~3136 3138~3140 3144~3148	<p>標高1,700mまでの区域では、冷温帯特有の植生分布を示す。</p> <p>1,700m付近から上部は亜寒帯の植生を示し、コメツガ、ウラジロモミ等の針葉樹が、さらに尾根筋にかけてはシラベ、オオシラビソが多くなる。</p> <p>最上部にはハイマツ群落の南限の高山帯や石灰岩特有の植生も包括している。</p> <p>我が国の主要な森林帯を代表する変化に富んだ原生的な森林生態系を保護・管理する。</p>	<p>原則として、人為を加えずに自然の推移に委ねる。</p> <p>外接する森林においては、当該保護林の急激な環境の変化を避けるため、原則として皆伐等による施業は行わないものとし、複層伐及び択伐を中心とした育成複層林施業又は天然生林施業を行う。</p>
面積計		1,511.03			

イ 生物群集保護林

名称	新設 既設別	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等	施業等
中央アルプス(駒ヶ岳)	新設	2,294.59	2101ろ・は、2102 2103ろ・は・イ~ハ 2109ろ・は・イ 2110ろ・は・イ 2111い、2135ろ 2136は、2139ろ 2236イ、2237イ 2240は・に・イ・ロ 2241に~と・イ・ロ 2242イ・ロ 2246~2248 2249は 2255~2257	池の平モレーン等の氷河地形を初めとする特異な地形を保護・管理する。	<p>原則として、人為を加えずに自然の推移に委ねる。</p> <p>ただし、人工林については、育成複層林施業等を行うことができるものとして、将来的には天然林への移行を図る。</p> <p>外接する森林においては、当該保護林の急激な環境</p>

名 称	新 設 既設別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
南アルプ ス(塩見 等)	新 設	5, 206. 19	2ろ・は、3、4 56~59、60ろ、65 66、70~73、89~94 100い、101~104 108~120 2012~2013 2014な・ら・イ・ハ・コ 2015へ	亜高山帯の天然林シラビ ソ、コメツガ、トウヒを保 護・管理する。	の変化を避けるた め、原則として皆 伐等による施業は 行わないものと し、複層伐及び択 伐を中心とした育 成複層林施業又は 天然生林施業を行 う。
南アルプ ス(聖岳 等)	新 設	5, 004. 54	2026~2041 3033、3039 3040~3042 3058、3059 3069~3071 3083~3086 3088、3089 3091~3093 3096、3099 3104~3107 3112、3113 3116 3129~3131	亜高山植生コメツガ、シ ラビソ、オオシラビソ、ダ ケカンバを保護・管理す る。	
南アルプ ス(仙丈岳 等)	新 設	3, 227. 66	263~266 269い・ろ・イ・ロ 270~275 276い・ろ・は1・は2・は 3・に・イ・ロ 277~279 280い、281 282、283い・イ 284ろ、285 286ろ、288は 289ろ・わ・か・イ 291は	天然カラマツ、シラビソ の遺伝資源及びヤツガタケ トウヒ、ヒメバラモミを保 護・管理する。	

名称	新設 既設別	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等	施業等
八ヶ岳	新設	294.68	1348イ	ヤツガタケキンポウゲ、 ヤツガタケアザミ等の高山 植物群落を保護・管理す る。	
		伊那谷:294.68	1349イ・ロ		
		千曲川上流:221.26	1350イ		
		計 515.94	1351イ		
面積計		16,027.66			

ウ 希少個体群保護林

名称	新設 既設別	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等	施業等
燕岩	新設	98.10	2057イ 2058イ 2076 2077 2078イ	氷河期遺存植物のアオチャ センダ等を含む遺存植物群 落を保護・管理する。	原則として、人 為を加えずに自然 の推移に委ねることとするが、当該 個体群の生育環境 及び保護・増殖に 必要な森林施業は 可能とする。ただ し、当該保護林の 環境創出等のため に皆伐等が必要と 認められる場合を 除くものとする。
丸山谷	新設	51.02	6に・ほ 8い 9い 10い 133に・ロ・ハ・ニ	三峰川水系の支流の丸山谷 北沢及び南沢に石灰岩の層が 延びており、この地域に生育 するヤツガタケトウヒ・ヒメ バラモミを保護・管理する。	
七島八島 湿原	新設	63.91	1138イ・ハ・ニ ホ・ハ・ル	中信高原で最も大きな湿原 であり、深さ8mを越える泥 炭層を堆積し、国の天然記念 物の湿原植物の宝庫でもある 貴重な高層湿原植物群落を保 護・管理する。	
小黒川ウ ラジロモ ミ遺伝資 源	新設	11.48	211い 212は	温帯と亜高山帯植物の移行 帯におけるウラジロモミ等の 遺伝資源を保存する。	
小瀬戸 谷・東風 巻谷	新設	122.01	13に 17い・ろ・リ・る・ わ・か 18い・ほ・ぬ・た・ そ、19い・ろ・イ	三峰川水系小瀬戸谷及び東 風巻谷にかけて石灰岩の層が 延びており、この地域に生育 するヤツガタケトウヒ・ヒメ バラモミを保護・管理する。	

名 称	新 設 既設別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
神 の 石 シ ダ	新 設	20.14	3001ろ 3004り 3053に 3054ほ 3056に~へ	神の石の石灰岩地帯に自生するイノデ類のうちヤシャイノデは、中国大陸、ネパール、台湾に見られるが、我が国では2箇所を数えるのみであり、その群落を保護・管理する。	
西岳・ フウキ沢 ヤツガタ ケトウヒ	新 設	32.81	1305ろ 1306ほ・へ 1309に・ほ・ち・ ぬ・わ・イ 1310ろ・か・た・つ	ヤツガタケトウヒの純林をを保護・管理する。	
大河原 イヌブナ 遺伝資源	新 設	43.93	2092ろ・は	イヌブナの遺伝資源を保存する。	
白岩岳 カラマツ 等	新 設	95.34	253は 255に 256ろ・へ 257ろ	赤石山系の天然カラマツ、ヤツガタケトウヒ、ヒメバラモミ、ヒメコマツ等からなる天然林を保護・管理する。	
八ヶ岳 縞 枯 山	新 設	46.85	1228に、1229は 1230ろ・は 1231ろ・に	縞枯山一帯の帯状立枯現象を示すシラベ群落を保護・管理する。	
風 巻 峠	新 設	71.15	83ろ・は・と・わ・イ 84い・は・と・ち・ぬ 85い~は・へ・ぬ	三峰川水系風巻峠周辺の右岸側斜面にある石灰岩及び泥岩の層が南北に延びており、石灰岩の崖の周辺に生育するヤツガタケトウヒ・ヒメバラモミを保護・管理する。	
豊 口 山 シ ダ	新 設	57.35	2016と、2017へ 2018ほ、2019は	トヨグチイノデ等のシダ類からなる石灰岩地帯特有の植生を保護・管理する。	
巫 女 淵	新 設	182.52	48は、49ろ・は 50ろ 51は、78、79	石灰岩の断崖と溪谷及びその谷間に生育する天然カラマツ、ヤツガタケトウヒ、ヒメバラモミ等を保護・管理する。	
面 積 計		896.61			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

名 称	新 設 既設別	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	
緑の回廊 八ヶ岳	既 設	21.0	3,679.48	1202は~ほ・イ、1204、1205い~は イ~ハ・ハ、1206~1208、1209い~は・ イ・ハ、1210~1218、1219ろ 1220ろ、1221ろ、1222、1223 1224い~は・イ~ハ、1225い・イ、1226 1227い~に、1228い~は、1229い・ろ・ に・イ、1230い、1231い・は、1232 1233い~と、1234い~ほ・イ・ハ 1235い~ハ、1236い~リ・イ・ロ・チ~ヌ 1237い~ほ・ロ、1238、1239ろ 1245、1251に、1252~1254 1259ろ・は、1260、1261ろ、1263ろ 1264は、1265い・ろ、1267、1268 1269い、1270い・ロ、1271、1272 1279、1280、1281い・ろ・ロ、1282 1283ろ・に・ほ、1287は・に 1288い~に、1289い~ハ・ロ 1291~1297、1298は・イ 1300い~に、1301、1302、1307 1308、1309ハ・リ・る 1310は・ほ~と・リ~わ・れ・そ・ね~ふ 1311は~わ・れ~の、1312~1314 1315い~は・ロ、1316~1318 1321は、1322、1323、1326、1327 1342~1344、1345イ・ロ・ニ 1346イ、1347、1352~1355	<p>伊 那 谷 : 3,679.48</p> <p>千曲川上流 : 2,155.83</p> <hr/> <p>計 5,835.31</p>	<p>緑の回廊設定区域は、千曲川上流森林計画区の蓼科山から伊那谷森林計画区の八ヶ岳連峰編笠山までの稜線を結ぶ区域となる。</p> <p>八ヶ岳縞枯山希少個体群保護林、白駒コメツガ希少個体群保護林、八ヶ岳生物群集保護林、西岳・フウキ沢ヤツガタケトウヒ希少個体群保護林の各保護林を連結し、野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育区域の拡大と相互交流を促す等、森林生態系の保護・保全を図ることを目的とする。</p> <p>林況は亜高山帯のシラベ・コメツガ等の針葉樹天然林と高山帯で構成されている。</p>

(注) 保護林及び貸付区域の見直しにより、設定面積3.62ha増。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(1) 自然休養林

名 称	新 設 既設別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
北八ヶ岳	既 設	1,037.03	ゾーン区分別 の林小班一覧 表のとおり	<p>当地域は東信・南信 両森林管理署にまたが り北八ヶ岳連峰の景勝 地を占める森林であ る。</p> <p>北八ヶ岳ロープウエ イ終点には有名な溶岩 台地である坪庭があ り、景観上も学術的 にも貴重なものである。 また、麦草峠は国道2 99号が通っており、 駐車場、宿泊施設等が 整備され、登山客、ハ イキング客の利用拠点 となっている。自然資 源が豊富であり、春か ら秋は自然探勝的な利 用、冬はスキーなどで 北八ヶ岳ロープウェイ 周辺の林間コースが利 用され、四季を通して レクリエーションの場 として活用されている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道 (国・茅野市)</li> <li>・駐車場 (茅野市)</li> <li>・園地 (国・民間)</li> <li>・ロープウェイ (民間)</li> <li>・山小屋 (民間)</li> </ul>		
面 積 計		1,037.03						

北八ヶ岳自然休養林のゾーン区分別の林小班一覧表

ゾーン区分	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
自然観察教育ゾーン	127.18	1224ろ、1225い、1226 1227ろ・は、1228は	天然生 林施業	・山小屋 (民間)		
		----- 1225イ~ハ	林 地 以 外			
風 景 ゾ ー ン	750.81	1204い	育成複 層林施 業	・園地 (国・地方公共団体)  ・山小屋 (民間)		
		1207に・へ・と、1208い・に 1209は、1210い~ほ、1211 1212い~ほ、1213~1217 1221ろ、1222、1223、1228ろ 1229い・ろ・に、1230い 1231い・は 1232、1233い~と、1234い~ほ 1236ほ・と、1237に・ほ 1238は・に	天然生 林施業			
		1209イ~ハ、1210イ、1212イ 1229イ、1233イ、1234イ~ハ 1236イ・ロ・チ・リ	林 地 以 外			
風 致 探 勝 ゾ ー ン	159.04	1224い・は、1227い・に 1228い、1235い~へ 1236い~に・へ・ち・リ 1237い~は、1238い・ろ	天然生 林施業	・園地 (国・地方公共団体・民間)  ・ロープウェイ (民間)  ・山小屋 (民間)  ・スキー場 (民間)  ・駐車場 (民間)		
		1224イ~へ、1227イ~ハ 1228イ、1235イ、1236ハ~ト・ ヌ・ル、1237イ・ロ	林 地 以 外			

(2) 自然観察教育林

名称	新設 既設別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
八ヶ岳	既 設	1,287.36	1247ろ・に・へ〜ち 1250い・ろ、1251ほ 1253、1254い 1255は、1256ろ 1257い、1258ほ・へ 1259い、1260は 1264ろ・に、1265は 1266ろ・は 1267は・に ----- 1246い〜は 1247い・ほ・り〜ろ 1249、1250は・に 1251い〜に、1252 1254ろ、1255い・ろ 1256い・は、1257ろ 1258い〜に 1259ろ・は 1260い・ろ 1261~1263 1264い・は 1265い・ろ、1266い 1267い・ろ、1268 1269い、1270い 1343い、1344い ----- 1246イ〜ハ 1250イ・ロ 1254イ〜ハ 1255イ〜ニ 1256イ〜ハ、1266イ 1269イ、1270イ〜ハ 1343イ、1344イ 1345、1346	八ヶ岳連峰のほぼ中央に位置し、シラベ、コメツガ、ダケカンバ等の天然林が主となっており、上部一帯は高山植物の宝庫である。 国有林内には、山小屋が多く、歩道、野営場も整備されている。1,000haに及ぶ区域内には自然観察だけでなく森林・林業を学ぶ場が多くある。首都圏等からのアクセスが良く、山麓一帯の民有地には多くの温泉があり、旅館、別荘、山小屋が充実しているため利用者が多い。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林 地 以 外	・ 旅館 (民間) ・ 山小屋 (民間) ・ 野営場 (民間) ・ 駐車場 (茅野市) ・ 便所 (茅野市)		
面積計		1,287.36						

(3) 野外スポーツ地域

名称	新設 既設別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
富士見	既 設	114.61	1337い・は ----- 1334ろ 1335ろ 1336い・ろ 1337ろ・に〜ろ ----- 1334ハ 1335イ 1336イ 1337イ〜ニ	八ヶ岳連峰の南西に位置し、南アルプスや富士山を遠望できる景勝地である。また、昭和63年に当地域一帯が「富士見高原森林空間総合利用整備事業」(ヒューマン・グリーン・プラン)に指定され、スキー場等が整備されている。隣接の民有地は、長野県企業局が富士見高原健康保養地を開発し、創造の森、陸上競技場、テニスコート、ゴルフ場、ペンション等が整備され、首都圏等からのアクセスも良く利用者が多い。	育成単 層林施 業 ----- 育成複 層林施 業 ----- 林 地 以 外	・スキー場 (本郷・落合・境 財産区管理者 富士見町長)		
面積計		114.61						

(4) 風致探勝林

名称	新設 既設別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
七島八島	既 設	31.25	1133は~ほ ----- 1133イ~チ 1137イ 1138ロ・ト~ヌ・ワ~タ 1142イ	国の天然記念物に指定されている霧ヶ峰最大の高層湿原「七島八島」を中核として、広大な草原となだらかなカラマツ林に覆われた一帯は、優れた景観を呈している。近接して開設されているビーナスライン沿線には駐車場、園地、休養施設、宿泊施設等が整備されている。	育成複 層林施 業 ----- 林 地 以 外	・野営場 (下諏訪町)  ・山小屋 (民間)  ・旅館 (民間)  ・便所 (下諏訪町)  ・駐車場 (長野県)		
富士見	既 設	55.44	1340ロ~ニ・ハ 1341イ2・ロ・ハ	八ヶ岳連峰の南西に位置し、南アルプスや富士山を遠望できる景勝地である。また、昭和63年に当地域一帯が「富士見高原森林空間総合利用整備事業」(ヒューマン・グリーン・プラン)に指定され、昭和63年に「富士見高原ふれあいの郷整備モデル事業」の宿泊拠点として、ふれあいの郷が整備されている。	林 地 以 外	・ふれあいの郷 (国)		

名称	新設 既設別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
駒ヶ岳	既 設	326.72	2111は・ほ ----- 2110い・に 2111に・へ・と ----- 2110ロ・ヌ 2111イ・ト 2135イ・へ	中央アルプスの駒ヶ岳の東側斜面に広がる天然林及び高山帯からなる地域である。 千畳敷カール等の氷河地形や、コマクサ等の高山植物が数多く生育している。 しらび平から千畳敷までロープウェイが通じており、貴重な自然環境を身近なものとして触れることができる。 全域が中央アルプス県立公園に、一部が長野県指定の天然記念物となっている。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林 地 以 外	・ 歩道 (駒ヶ根市・宮田村) ・ 園地 (民間) ・ 山小屋 (民間) ・ 野営場 (民間) ・ ロープウェイ (民間) ・ 駐車場 (民間)		
富士見台	既 設	147.11	3314は・と・ぬ・か・た 3315り・る・た・ね・な・む 3316ち、3317ろ・り ----- 3315ら、3316へ・と 3317は・ほ・と・ぬ 3318ほ・へ ----- 3313ハ、3314イ 3315ロ、3316ハ 3317イ・ハ・ホ・チ	神坂峠を中心に長野県と岐阜県をまたいだ富士見台高原一帯。文化財指定の「祭祀遺跡」があり、眺望景観を楽しみながらの自然探勝、自然観察、ハイキング、登山等に適している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林 地 以 外	・ 歩道 (阿智村) ・ 園地 (阿智村) ・ 駐車場 (中津川市)		
面積計		560.52						

(参考) レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法等

対象団地	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
ビーナスライン沿線 (東俣国有林)	225.82	1107い・ろ、1110ろ 1111い~へ、1112い・ろ・に 1128い・ろ、1129い・に 1132い、1133い、1137は~と 1142ろ・は、1143は~ほ	育成複 層林施 業			
		1110い、1112ほ、1133ろ 1137ぬ、1142い、1143ろ	天然生 林施業			
		1107ロ~ワ、1110ロ~ホ・チ 1111ロ・ハ、1112ロ、1128ロ 1129ロ、1132ロ~ニ、1143イ	林地 以外			
蛇石周辺 (横川国有林)	9.15	1006り~わ、1067へ	育成複 層林施 業	・園地 (辰野町)		
		1006と、1067ろ・と	天然生 林施業			
		1067ホ	林地 以外			
三級の滝周辺 (横川国有林)	34.76	1013へ・ち、1014と 1016り、1022ほ	育成複 層林施 業	・歩道 (国・辰野町)  ・野営場 (辰野町)		
		1013に 1014に 1023に・へ・と	天然生 林施業			
		1013イ~ハ	林地 以外			

対象団地	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
霧ヶ峰周辺 (東俣国有林)	131.22	1103は、1104は 1105は、1112は 1128は 1129ろ・は、1132ろ 1144ろ、1145に・へ 1149へ	育成複 層林施 業	・歩道 (下諏訪町)		
		1143い・へ、1144い 1145ほ	天然生 林施業			
		1103ハ、1104ニ 1105イ・チ 1107イ・カ 1110イ・へ・ト 1111イ・ニ・ホ 1112イ・ハ 1128イ、1129イ 1132イ、1143ロ 1144イ、1145イ 1149イ・ロ	林地 以外			
入笠山周辺 (黒河内国有林)	288.43	215い、216い・ろ 217い・ろ、218い 219い・に、220い～は 221い・ほ、222ほ 225に、226ろ	育成複 層林施 業	・歩道 (国・地方公共団体)  ・園地 (国・地方公共団体)  ・駐車場 (富士見町)		
		219ろ・は 221ろ 222は・に 226は	天然生 林施業			
		216イ・ロ、217イ 220イ・ロ、221イ	林地 以外			

対 象 団 地	面積 (ha)	位 置 (林小班)	施業 方法	既 存 施 設 の 概 要	施 設 整 備	備 考
しらびそ高原周辺 (大河原・程野山・ 遠山本谷国有林)	302.15	3174わ、3175は 3179に 3180ろ・に	育成複 層林施 業	・園地 (飯田市)  ・歩道 (飯田市)		
		----- 2074ろ、2075ろ 3002ち、3003に・ぬ 3006は、3007は 3171わ、3172は 3173に・ほ、3174ほ 3175い・に~と 3176ほ・へ 3178ぬ~わ 3179ろ・は	天然生 林施業			

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域等

該当無し

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

区 分	名 称	設定年	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
施業指標林	金 沢 山 天 然 林	S59年度	4.12	1408に	天然林施業体系の確立
	西 風 巻 広 葉 樹 天 然 林	S59年度	7.82	38ち 39り	天然林施業体系の確立
	茶 臼 山 天 然 林	S59年度	3.11	2066ほ	天然林施業体系の確立
	カ ラ マ ツ 人 工 林 間 伐 推 進	S60年度	2.83	311は	列状間伐による伐採・搬出経費の節減
試 験 地	金 沢 カ ラ マ ツ 人 工 林 収 穫 試 験	S36年度	1.00	1404は	カラマツ人工林の構造と成長
	カ ラ マ ツ 本 数 密 度 調 節 試 験	S45年度	2.34	254い	本数密度調節の合理的な方法の追求
	亜 高 山 性 樹 種 の 本 数 調 節 試 験	S45年度	0.45	1247ぬ	伐期短縮の検討
	エ ゾ マ ツ カ サ ア ブ ラ 抵 抗 性 検 定 試 験	S45年度	0.50	1329は	エゾマツカサアブラの生態と防除
次代検定林	関 長 19号	S50年度	1.12	1101は	ヒノキ
	関 長 14号	S49年度	2.10	2055ほ・へり	カラマツ
	関 長 15号	S49年度	1.50	3243は・に	ヒノキ
遺 伝 子 保 存 林	長 遺 9号	S44年度	0.50	1329ち	ヤツガタケトウヒ
	長 遺 10号	S44年度	0.50	1329は	ヒメマツハダ
	長 遺 22号	S52年度	1.50	2058わ	カラマツ
	長 遺 23号	S53年度	1.50	228ち	カラマツ
精 英 樹 保 護 林	カ ラ マ ツ 4 号	S32年度	0.63	1242ほ	諏訪 4号
	カ ラ マ ツ 5 号	S32年度	0.13	1248と	諏訪 5号
	カ ラ マ ツ 10号	S32年度	0.17	1425ち	諏訪 10号
		S32年度	0.27	1426ち	
	カ ラ マ ツ 11号	S32年度	0.45	1430に	諏訪 11号
	カ ラ マ ツ 12号	S32年度	0.02	1421る	諏訪 12号
		S32年度	0.36	1427は	
	カ ラ マ ツ 13号	S32年度	0.10	1421ぬ	諏訪 13号
		S32年度	0.20	1427に	
	カ ラ マ ツ 15号	S32年度	0.56	1067ほ	諏訪 15号
ヒ ノ キ 1号	S33年度	0.10	301ほ	伊那 1号	
ウ ラ ジ ロ モ ミ 102・103・104号	S40年度	0.10	2081へ	駒ヶ根102・103・104号	

区 分	名 称	設定年	面積(ha)	位置(林小班)	備 考
精 英 樹 保 護 林	ス ギ 2号	S40年度	0.31	3211へ	飯田2号
	ス ギ 3号	S40年度	0.06	3214と	飯田3号
特別母樹林	特45-11	S46年度	3.48	1319よ	カラマツ
		S46年度	8.14	1319ろ	カラマツ
	特48-14	S48年度	9.76	256へ	カラマツ
		S48年度	4.38	257ろ	カラマツ
	特48-13	S48年度	2.70	2113ほ	カラマツ

(2) フィールドの提供等

ア. 木の文化を支える森

名 称	面積(ha)	位置(林小班)	設 定 の 目 的 等
御 柱 の 森 (平成14年度制定)	383.46	1137 1141~1146 1149、1150 1152、1153	協定相手方：御柱の森づくり協議会長 協定期間：平成35年3月31日まで (平成29年度末更新) 目的：諏訪地方の伝統的な行事である諏訪大社下社の御柱祭で使用可能なモミ大径材の育成を図るため。
御柱の心をつなぐ森 (平成26年度制定)	14.36	1057は	協定相手方：自然と地域と人を結ぶ協議会長 協定期間：平成35年3月31日まで (平成29年度末更新) 目的：諏訪地方の伝統的な行事である諏訪大社上社の御柱祭で使用可能なモミ大径材の育成を図るため。

イ. 遊々の森

名 称	面積(ha)	位置(林小班)	設 定 の 目 的 等
多摩市民の森・ フレンドツリー (平成17年度制定)	25.60	1329い・と 1330い・ろ	協定相手方：東京都多摩市長 協定期間：平成35年3月31日まで (平成29年度末更新) 目的：フィールドを利用した多様な体験活動を通じ森林の大切さを学習する。

(3) 森林共同施業団地

名 称	対 象 地 (林 班)		面積 (ha)	連携した施業の内容	備 考
伊那市杉島地区森林 整備団地	民	2110～2114 2134～2161	2,701.46	除伐・つる切・間伐 等の森林整備と森林 作業道・林業専用道 等の路網整備	
	国	1、2、287～298	1,007.44	つる切・保育間伐・ 経常間伐等の森林整 備と既設道の改良・ 森林作業道・林業専 用道等の路網整備	
計			3,708.90		